

令和6年度 こども園（保育園）関係者評価
施設自己評価シート

園名：矢崎おひさま保育園

【園の教育・保育目標】

- ・家庭を基礎に、家族・友達・保育者・地域の人々など豊かな人間関係の中で、愛される喜びを知り、他を愛することができる心を育みます。
- ・子どもたちの健やかな心身の発達場として、家庭と地域と協力し、様々な活動を通して一人一人を尊重し、「生きる力」を育みます。

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

- ・食について正しい知識を習得し、食に対する取り組みを計画的に実施する。
- ・年間計画に添って、掲示板等を活用し、園の情報や活動を工夫して発信していく。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	評価	評価理由
<u>I. 目標の理解</u> 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	・7つの活動を意識して、日々のあそびの提供を行った。 ・経営書を確認し、重点目標を意識して指導計画を作成し実践することができた。
<u>II. 教育・保育の計画性と内容</u> 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	・子どもたちの年齢や月齢が低く出来ることは限られるが、5領域を含めた指導計画の作成、実践をすることができた。 ・人数が少ないため計画的に他園との交流を行い、いろいろな人との関わりを深められるようにした。 ・年齢や月齢の低さから提供できる玩具が限られており、玩具の入れ替えやあそびを深めることが十分にできなかった。
<u>III. 子どもにとっては</u> 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	・小規模園であり子どもの人数も少ないため、一人一人が自分の思いを表現しながらのびのびと過ごすことができた。 ・個々の成長や発達に合わせて、一人ひとりに寄り添った関わりができた。
<u>IV. ファミリーにとっては</u> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ	4	・毎日の送迎時の保護者の方とのコミュニケーションを大事にし、子育てのアドバイスや園と家庭との情報の共有を密に行い、互いに子どもの成長を認め合うことができた。 ・一日の園の様子を写真で掲示したり、玄関のモニターに映し出したりしながら子どもの姿を伝えた。 ・ブログやおたよりにて情報の発信をした。
<u>V. 地域にとっては</u> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように	3	・会社ロビーや食堂入口と出口に子どもたちの作品や活動の様子等を掲示し、園の情報を発信した。 ・会社や園周辺への散歩に出かけたり、会社の方に園の行事にボランティアとして来てもらったりと、いろいろな人と交流することが出来た。 ・赤ちゃんサロンの利用者が少なく、園児以外への支援があまり出来なかった。
<u>VI. スタッフにとっては</u> 1. 個性が活かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ	4	・毎週の振り返りの中で情報共有し、協力して業務を進めていくことができた。 ・職員体制を見える化し、各々が業務に取り組みやすくなるようにした。